



# 防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第47号 NO. 047

日本防災士会横浜支部

支部長 今井 淳

事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年9月28日

## 「別所コミュニティハウス」防災講演会実施報告

2019年度事業計画の中に新規事業として防災に関する講演会を企画しています。

近くに住む防災士が当ハウスの館長と知り合いであったことから、今回「いざというときのための防災」の講演依頼を受けて実施することになりました。

日 時 令和元年9月28日(土) 10:00～12:00

場 所 横浜市南区「別所コミュニティハウス」

参加者 13名 (館長、事務局、地域住民の方々11名)

演 題 いざというときのための防災

日本防災士会横浜支部 今井支部長、山田防災士、飛田防災士

### ◆講演会内容

震災・台風・洪水等について、「いざというときのための防災」という内容で講演を行ないました。

地震災害も怖いけど最近の台風15号ではライフラインの電気が長期に停電した事により生活に大きな影響をもたらしました。停電による生活の変化が大きく、困難な状況がありましたが、特に高層マンションに住む高齢者にとっては、階段の上りおりに大変な苦勞が有ったと聞いております。大きな被害をもたらせたこの台風に対し聴講者の中から、ここ横浜市の自宅の庭にトタン屋根が落ちてきたなどの話もありました。

今回の講演の「いざというときのための防災」については、解りやすい説明を心がけお話しを致しました。高齢者にとって災害発生時に早め早めに行動を取ることが被害を減少することになります。また周りの人が共助の目を向けてもらうことが大切だと感じています。

台風15号は、関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力で9月9日に上陸し、千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風ですが、聴講者の皆さんも大きな関心を示していました。

会場には防災グッズも展示致しました。日常使用する小銭、裁縫小物を入れたポーチや照明器具、ラジオ等についての質問があり、丁寧に対応いたしました。



「コミュニティハウス」を利用しているのは、地域住民の方々で高齢の女性が多く活動している施設です。いろいろな行事を行なっている中で、9月は「防災の月」であることから、今年は「防災講演」を行う事になったようで「いざというときのための防災」という演題で日本防災士会横浜支部に依頼がありました。この講演会には高齢者の女性の聴講者が多く、強い風が吹き始めると、飛来物を避けながら避難することは難しい。台風は事前に勢力やコースを予想できるので、早めに避難所に行く心構えが大切です。避難等に対する方法を真剣に考える時期に来ているように思います。

文責 今井支部長